重要性分類Ⅳ
令和８年 10 月 30 日作成

コンピュータチェック対象事例

ファイル仕様書

（チェックマスタ）

令和８年 10 月

編集　医療情報基盤・診療報酬審査支払機構

（ＤＸ審査支払機構）

目　次

第１章　ファイル概説

１　コンピュータチェック対象事例の構成等

⑴　ファイルの構造・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

⑵　ファイルの利用方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　・・・2

⑶　ファイル間の相関関係・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　・・・3

第２章　ファイル仕様

１　記録形式・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

２　ファイル構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

３　レコード形式・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

４　内容を表現する文字の符号・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

５　ユニークとなる項目の組合せ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

６　ヘッダーレコードの情報表記仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

７　データレコードの情報表記仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15

第３章　別表

別表１　チェック対象 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29

別表２　チェック観点 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29

別表３　参照範囲 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30

別表４　根拠 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30

別表５　変更区分 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30

別表６　マスタファイル参照先区分 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31

別表７　傷病名コード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32

１　コンピュータチェック対象事例の構成等

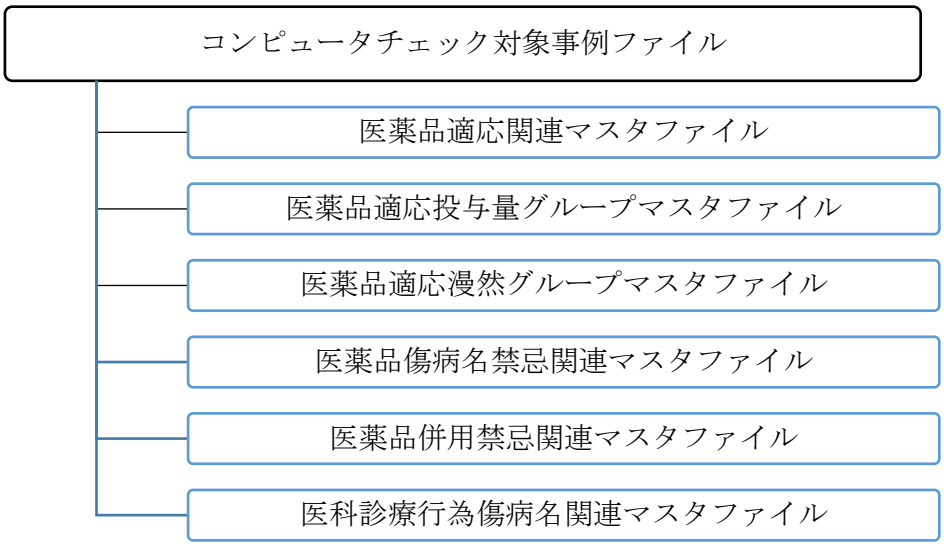
⑴　ファイルの構造

コンピュータチェック対象事例は、以下のファイルで構成する。

項番	名称	内容
1	コンピュータチェック対象事例ファイル	医科（ＤＰＣ）、歯科、調剤、医薬品及び特定保険医療材料に係るコンピュータチェック対象事例を１つのファイルに記録する。
2	医薬品適応関連マスタファイル	医薬品の適応となる傷病名、投与量及び投与日数の上限値を表す。
3	医薬品適応投与量グループマスタファイル	同成分の医薬品の投与量の上限値を表す。
4	医薬品適応漫然グループマスタファイル	同成分の医薬品の投与日数の上限値を表す。
5	医薬品傷病名禁忌関連マスタファイル	医薬品と傷病名が禁忌となる組合せを表す。
6	医薬品併用禁忌関連マスタファイル	医薬品と医薬品が禁忌となる組合せを表す。
7	医科診療行為傷病名関連マスタファイル	医科診療行為の適応となる傷病名を表す。

⑵　ファイルの利用方法

ファイルは、コンピュータチェック対象事例ファイルから、医薬品適応関連マスタファイル等を参照して使用する構成となっている。参照先は、コンピュータチェック対象事例ファイルのマスタファイル参照先区分（第３章の別表 6）により決定する。



⑶　ファイル間の相関関係

ア　コンピュータチェック対象事例ファイルと医薬品適応関連マスタファイルの相関関係

【コンピュータチェック対象事例ファイル】

マスターコード	名称	（中略）	事例コード	（中略）	マスタファイル参照先区分
610462015	リポバス錠１０　１０ｍｇ		48IY00X204000		1
621867201	ペンタサ錠５００ｍｇ		48IY00X205000		1
610462002	タミフルドライシロップ3%		48IY00X304000		1

別表６（抜粋）

マスタファイル参照先区分	参照先ファイル	ファイル名
1：医薬品適応関連マスタファイル	医薬品適応関連マスタファイル	IY_Tekio_チェックマスタ.csv

【医薬品適応関連マスタファイル】

医薬品コード	傷病名コード	性別	年齢下限	年齢上限	最大投与量	最長投与日数
621867201	5559001	0	000.00	999.99	00006.00000	999
621867201	5569003	0	000.00	999.99	00008.00000	999

＜解説＞

「コンピュータチェック対象事例ファイル」の項目「マスタファイル参照先区分」項目に値「1」が設定されている。

この場合、参照先ファイルは第３章の別表 6「マスタファイル参照先区分」より「医薬品適応関連マスタファイル」となる。

「医薬品適応関連マスタファイル」の項目「医薬品コード」を、「コンピュータチェック対象事例ファイル」の項目「マスターコード」に設定されている値により検索すると、適応として設定されている傷病名コード並びに傷病名ごとに設定されている最大投与量又は最長投与日数等が確認できる。

イ　コンピュータチェック対象事例ファイルと医薬品適応投与量グループマスタファイルの相関関係

【コンピュータチェック対象事例ファイル】

マスターコード	名称	（中略）	事例コード	（中略）	マスタファイル参照先区分
622442701	ペンタサ顆粒９４％		48IY00X211000		4

別表６（抜粋）

区　分	内　容	ダウンロードファイル名
4：医薬品適応投与量グループマスタファイル	医薬品適応投与量グループマスタファイルを参照する事例	IY_Toyoryou_Group_チェックマスタ.csv

【医薬品適応投与量グループマスタファイル】

医薬品コード	グループ名	傷病名コード	性別	年齢下限	年齢上限	投与量制限（変更後最大投与量）
622442701	Ａグループ	0000000	0	000.00	999.99	00004800.00000

＜解説＞

「コンピュータチェック対象事例ファイル」の項目「マスタファイル参照先区分」項目に値「4」が設定されている。

この場合、参照先ファイルは第３章の別表６「マスタファイル参照先区分」より「医薬品適応投与量グループマスタファイル」となる。

「医薬品適応投与量グループマスタファイル」の項目「医薬品コード」を、「コンピュータチェック対象事例ファイル」の項目「マスターコード」項目に設定されている値により検索すると、設定されている投与量制限（変更後最大投与量）が確認できる。

ウ　コンピュータチェック対象事例ファイルと医薬品適応漫然グループマスタファイルの相関関係

【コンピュータチェック対象事例ファイル】

マスターコード	名称	（中略）	事例コード	（中略）	マスタファイル参照先区分
610412202	パリエット錠１０ｍｇ		48IY00X31X000		5

別表６（抜粋）

区　分	内　容	ダウンロードファイル名
5：医薬品適応漫然グループマスタファイル	医薬品適応漫然グループマスタファイルを参照する事例	IY_Manzen_Group_チェックマスタ.csv

【医薬品適応漫然グループマスタファイル】

医薬品コード	グループ名	傷病名コード	性別	漫然投与日数	漫然投与リセット日数	漫然投与係数
610412202	Ａグループ	5310002	0	56	14	1
610412202	Ａグループ	5313001	0	56	14	1
610412202	Ａグループ	5317002	0	56	14	1

＜解説＞

「コンピュータチェック対象事例ファイル」の項目「マスタファイル参照先区分」項目に値「5」が設定されている。

この場合、参照先ファイルは第３章の別表 6「マスタファイル参照先区分」より「医薬品適応漫然グループマスタファイル」となる。

「医薬品適応漫然グループマスタファイル」の項目「医薬品コード」を、「コンピュータチェック対象事例ファイル」の項目「マスターコード」項目に設定されている値により検索すると、設定されている漫然投与日数、漫然投与リセット日数、漫然投与係数が確認できる。

エ　コンピュータチェック対象事例ファイルと医薬品傷病名禁忌関連マスタファイルの相関関係

【コンピュータチェック対象事例ファイル】

マスターコード	名称	（中略）	事例コード	（中略）	マスタファイル参照先区分
620003796	プリンペラン注射液１０ｍｇ		48IY00X501000		6

別表６（抜粋）

区　分	内　容	ダウンロードファイル名
6：医薬品傷病名禁忌関連マスタファイル	医薬品傷病名禁忌関連マスタファイルを参照する事例	IY_ShobyoKinki_チェックマスタ.csv

【医薬品傷病名禁忌関連マスタファイル】

医薬品コード	禁忌傷病名コード
620003796	5319011

＜解説＞

「コンピュータチェック対象事例ファイル」の項目「マスタファイル参照先区分」項目に値「6」が設定されている。

この場合、参照先ファイルは第３章の別表 6「マスタファイル参照先区分」より「医薬品傷病名禁忌関連マスタファイル」となる。

「医薬品傷病名禁忌関連マスタファイル」の項目「医薬品コード」を、「コンピュータチェック対象事例ファイル」の項目「マスターコード」項目に設定されている値により検索すると、禁忌として設定されている傷病名コードが確認できる。

オ　コンピュータチェック対象事例ファイルと医薬品併用禁忌関連マスタファイルの相関関係

【コンピュータチェック対象事例ファイル】

マスターコード	名称	（中略）	事例コード	（中略）	マスタファイル参照先区分
620003796	プリンペラン注射液１０ｍｇ		48IY00XX60100		7
620005206	ピノルビン注射用１０ｍｇ		48IY00XX60200		7
620507804	メトクロプラミド注１０ｍｇ「ＮＩＧ」		48IY00XX50200		7

別表６（抜粋）

区　分	内　容	ダウンロードファイル名
7：医薬品併用禁忌関連マスタファイル	医薬品併用禁忌関連マスタファイルを参照する事例	IY_HeiyoKinki チェックマスタ.csv

【医薬品併用禁忌関連マスタファイル】

医薬品コード（L）	医薬品コード（R）
620008918	620003796
620003796	620008918

＜解説＞

「コンピュータチェック対象事例ファイル」の項目「マスタファイル参照先区分」項目に値「7」が設定されている。

この場合、参照先ファイルは第３章の別表 6「マスタファイル参照先区分」より「医薬品併用禁忌関連マスタファイル」となる。

「コンピュータチェック対象事例ファイル」の項目「マスターコード」の値は、「医薬品コード（L）」及び「医薬品コード（R）」の両方に記録されている。そのため、「コンピュータチェック対象事例ファイル」の項目「マスターコード」の値を「医薬品併用禁忌関連マスタファイル」から検索する際は、「医薬品コード（L）」あるいは「医薬品コード（R）」のいずれかの項を検索すればよい。

「医薬品併用禁忌関連マスタファイル」の項目「医薬品コード（L）」あるいは「医薬品コード（R）」を、「コンピュータチェック対象事例ファイル」の項目「マスターコード」項目に設定されている値により検索すると、禁忌（併用投与）として設定されている医薬品コードの組合せが確認できる。

カ　コンピュータチェック対象事例ファイルと医科診療行為傷病名関連マスタファイルの相関関係

【コンピュータチェック対象事例ファイル】

マスターコード	名称	（中略）	事例コード	（中略）	マスタファイル参照先区分
160060910	精液一般検査		48SIxx0010200		2

別表６（抜粋）

マスタファイル参照先区分	参照先ファイル	ダウンロードファイル名
2：医科診療行為傷病名関連マスタファイル	医科診療行為傷病名関連マスタファイル	SI_Shobyo_チェックマスタ.csv

【医科診療行為傷病名関連マスタファイル】

医科診療行為コード	傷病名コード	性別
160060910	6069003	1

＜解説＞

「コンピュータチェック対象事例ファイル」の「マスタファイル参照先区分」項目に値「2」が設定されている。

この場合、参照先ファイルは第３章の別表 6「マスタファイル参照先区分」より「医科診療行為傷病名関連マスタファイル」となる。

「医科診療行為傷病名関連マスタファイル」の項目「診療行為コード」を、「コンピュータチェック対象事例ファイル」の項目「マスターコード」に設定されている値により検索すると、適応として設定されている傷病名コード及び性別等が確認できる。

第２章　ファイル仕様

１　記録形式

ＣＳＶ形式とする。

２　ファイル構成

⑴　テーブル名とダウンロードファイル名の対応は第３章の別表６「マスタファイル参照先区分」のとおりとする。

⑵　ファイルを以下の２種類のレコードで構成する。

・　ヘッダーレコード

ファイルの先頭（第１レコード）に作成し、各項目の項目名を記録する。

・　データレコード

ファイルの第２レコード以降に作成し、各テーブルのデータを記録する。

３　レコード形式

⑴　レコード形式は可変長レコードとし、各レコードの末尾には改行コードを入れる。

⑵　レコード内の各項目間は、カンマ「,」で区切る。

⑶　各項目の値は、モード（「漢字」、「英数」及び「数字」）にかかわらず、引用符「”」（ダブルクォーテーション）を前後に付す。

４　内容を表現する文字の符号

内容を記録する文字の符号は、シフトＪＩＳによるものとする。

ただし、診療報酬点数表の告示名等を引用しているため、以下の機種依存文字を含む場合がある。

・　ローマ数字（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）等

・　丸付き数字（①、②、③）等

５　ユニークとなる項目の組合せ

ユニークとなる項目の組合せは次のとおりである

項番	ファイル名	キー項目
1	コンピュータチェック対象事例ファイル	マスターコード、事例コード
2	医薬品適応関連マスタファイル	医薬品コード、傷病名コード、性別、年齢（下限）、年齢（上限）、参照範囲
3	医薬品適応投与量グループマスタファイル	医薬品コード、傷病名コード、性別、年齢（下限）、年齢（上限）
4	医薬品適応漫然グループマスタファイル	医薬品コード、傷病名コード
5	医薬品傷病名禁忌関連マスタファイル	医薬品コード、禁忌傷病名コード
6	医薬品併用禁忌関連マスタファイル	医薬品コード（Ｌ）、医薬品コード（Ｒ）
7	医科診療行為傷病名関連マスタファイル	診療行為コード、傷病名コード

6　ヘッダーレコードの情報表記仕様

⑴　コンピュータチェック対象事例ファイル

項番	形式			内　容
	ﾓｰﾄﾞ	最大ﾊﾞｲﾄ	項目形式	
1	漢字	14	固定	“マスターコード”を記録する。
2	漢字	4	固定	“名称”を記録する。
3	漢字	12	固定	“チェック対象”を記録する。
4	漢字	12	固定	“チェック観点”を記録する。
5	漢字	12	固定	“チェック内容”を記録する。
6	漢字	8	固定	“参照範囲”を記録する。
7	漢字	12	固定	“医科点検対象”を記録する。
8	漢字	14	固定	“ＤＰＣ点検対象”を記録する。
9	漢字	12	固定	“歯科点検対象”を記録する。
10	漢字	12	固定	“調剤点検対象”を記録する。
11	漢字	4	固定	“根拠”を記録する。
12	漢字	12	固定	“チェック根拠”を記録する。
13	漢字	10	固定	“事例コード”を記録する。
14	漢字	10	固定	“公開年月日”を記録する。
15	漢字	8	固定	“変更区分”を記録する。
16	漢字	24	固定	“マスタファイル参照先区分”を記録する。
17	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備 2”を記録する。
18	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備 3”を記録する。
19	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備 4”を記録する。
20	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備 5”を記録する。

⑵　医薬品適応関連マスタファイル

項番	形式			内　容
	ﾓｰﾄﾞ	最大ﾊﾞｲﾄ	項目形式	
1	漢字	12	固定	“医薬品コード”を記録する。
2	漢字	12	固定	“傷病名コード”を記録する。
3	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備 1”を記録する。
4	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備 2”を記録する。
5	漢字	4	固定	“性別” を記録する。
6	漢字	12	固定	“年齢（下限)” を記録する。
7	漢字	12	固定	“年齢（上限)” を記録する。
8	漢字	12	固定	“チェック区分”を記録する
9	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備 4”を記録する。
10	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備 5”を記録する。
11	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備 6”を記録する。
12	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備 7”を記録する。
13	漢字	10	固定	“最大投与量” を記録する。
14	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備 8”を記録する。
15	漢字	12	固定	“最長投与日数” を記録する。
16	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備 9”を記録する。
17	漢字	8	固定	別に変更するまでの間、“予備 10”を記録する。
18	漢字	8	固定	別に変更するまでの間、“予備 11”を記録する。
19	漢字	8	固定	別に変更するまでの間、“予備 12”を記録する。
20	漢字	8	固定	別に変更するまでの間、“予備 13”を記録する。
21	漢字	26	固定	“投与量制限－適宜増減等区分”を記録する。
22	漢字	8	固定	別に変更するまでの間、“予備 15”を記録する。
23	漢字	8	固定	“変更区分”を記録する。
24	漢字	8	固定	“参照範囲”を記録する。

⑶　医薬品適応投与量グループマスタファイル

項番	形式			内　容
	ﾓｰﾄﾞ	最大ﾊﾞｲﾄ	項目形式	
1	漢字	12	固定	“医薬品コード”を記録する。
2	漢字	14	固定	“投与形態コード”を記録する。
3	漢字	8	固定	“含量単位”を記録する。
4	漢字	5	固定	“グループ名”を記録する。
5	漢字	12	固定	“傷病名コード”を記録する。
6	漢字	4	固定	“性別”を記録する。
7	漢字	10	固定	“年齢－下限”を記録する。
8	漢字	10	固定	“年齢－上限”を記録する。
9	漢字	6	固定	“規格値”を記録する。
10	漢字	18	固定	“チェック対象フラグ”を記録する。
11	漢字	36	固定	“投与量制限－変更後最大投与量(規格)”を記録する。
12	漢字	8	固定	“変更区分”を記録する。
13	漢字	8	固定	“参照範囲”を記録する。

⑷　医薬品適応漫然グループマスタファイル

項番	形式			内　容
	ﾓｰﾄﾞ	最大ﾊﾞｲﾄ	項目形式	
1	漢字	12	固定	“医薬品コード”を記録する。
2	漢字	14	固定	“投与形態コード”を記録する。
3	漢字	10	固定	“グループ名”を記録する。
4	漢字	12	固定	“傷病名コード”を記録する。
5	漢字	18	固定	“チェック対象フラグ”を記録する。
6	漢字	30	固定	“漫然投与日数チェック対象フラグ”を記録する。
7	漢字	12	固定	“漫然投与日数”を記録する。
8	漢字	20	固定	“漫然投与リセット日数”を記録する。
9	漢字	12	固定	“漫然投与係数”を記録する。
10	漢字	8	固定	“変更区分”を記録する。
11	漢字	8	固定	“参照範囲”を記録する。

⑸　医薬品傷病名禁忌関連マスタファイル

項番	形式			内　容
	ﾓｰﾄﾞ	最大ﾊﾞｲﾄ	項目形式	
1	漢字	12	固定	“医薬品コード” を記録する。
2	漢字	16	固定	“禁忌傷病名コード” を記録する。
3	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備 1”を記録する。
4	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備 2”を記録する。
5	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備 3”を記録する。
6	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備 4”を記録する。
7	漢字	8	固定	“変更区分”を記録する。
8	漢字	8	固定	“参照範囲”を記録する。

⑹　医薬品併用禁忌関連マスタファイル

項番	形式			内　容
	ﾓｰﾄﾞ	最大ﾊﾞｲﾄ	項目形式	
1	漢字	18	固定	“医薬品コード（L）” を記録する。
2	漢字	18	固定	“医薬品コード（R）” を記録する。
3	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備 1”を記録する。
4	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備 2”を記録する。
5	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備 3”を記録する。
6	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備 4”を記録する。
7	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備 5”を記録する。
8	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備 6”を記録する。
9	漢字	8	固定	“変更区分”を記録する。
10	漢字	8	固定	“参照範囲”を記録する。

⑺ 医科診療行為傷病名関連マスタファイル

項番	形式			内　容
	ﾓｰﾄﾞ	最大ﾊﾞｲﾄ	項目形式	
1	漢字	18	固定	“医科診療行為コード”を記録する。
2	漢字	12	固定	“傷病名コード”を記録する。
3	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備 1”を記録する。
4	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備 2”を記録する。
5	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備 3”を記録する。
6	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備 4”を記録する。
7	漢字	4	固定	“性別”を記録する。
8	漢字	12	固定	“年齢（下限)”を記録する。
9	漢字	12	固定	“年齢（上限)”を記録する。
10	漢字	8	固定	“入外区分”を記録する。
11	漢字	8	固定	“疑い病名”を記録する。
12	漢字	8	固定	“変更区分”を記録する。
13	漢字	8	固定	“参照範囲”を記録する。

7　データレコードの情報表記仕様

⑴　コンピュータチェック対象事例ファイル

項番	項　目　名	形式			内　容
		ﾓｰﾄﾞ	最大ﾊﾞｲﾄ	項目形式	
1	マスターコード	英数	14	可変	1　レセプト電算処理のマスターコードを表す。 2　こども家庭庁長官及び厚生労働大臣が定めるオンライン又は光ディスク等による請求に係る診療(調剤)行為コード、医薬品コード及び特定器材コード等を表す。 3　当該項目の値は省略しない。 4　当該項目を第1ソートキーとする。
2	名称	漢字	300	可変	1　項番1のマスターコードに対応する名称を表す。 2　当該項目の値は省略しない。 3　最大150文字まで設定する。
3	チェック対象	漢字	20	可変	1　チェック対象を表す。 2　チェック対象の詳細を第3章の別表1に示す。 3　当該項目の値は省略しない。 4　最大10文字まで設定する。
4	チェック観点	漢字	40	可変	1　チェック観点を表す。 2　チェック観点の詳細を第3章の別表2に示す。 3　当該項目の値は省略しない。 4　最大20文字まで設定する。
5	チェック内容	漢字	4000	可変	1　チェックする内容を文章にて表す。 2　当該項目の値は省略しない。 3　最大2000文字まで設定する。
6	参照範囲	漢字	8	固定	1　レセプト参照の範囲を表す。 2　参照範囲の詳細を第3章の別表3に示す。
7	医科点検対象	数字	1	固定	1　当該事例によるチェックを医科レセプトに対して実施しているか否か、また、実施している場合、対象とするレセプト種別をコードで表す。 ＜コード内容＞ 0：未実施 1：入院レセプトのみ実施 2：入院外レセプト(突合点検の調剤を含む。)のみ実施 3：入院レセプト及び入院外レセプト(突合点検の調剤を含む。)に実施

項番	項　目　名	形式			内　容
		ﾓｰﾄﾞ	最大ﾊﾞｲﾄ	項目形式	
8	ＤＰＣ点検対象	数字	1	固定	1　当該事例によるチェックをＤＰＣレセプトに対して実施しているか否か、また、実施している場合、対象とするレセプト種別をコードで表す。 ＜コード内容＞ 0：未実施 1：総括対象ＤＰＣレセプトのみ実施 2：総括対象医科入院レセプトのみ実施 3：総括対象ＤＰＣレセプト及び総括対象医科入院レセプトに実施
9	歯科点検対象	数字	1	固定	1　当該事例によるチェックを歯科レセプトに対して実施しているか否か、また、実施している場合、対象とするレセプト種別をコードで表す。 ＜コード内容＞ 0：未実施 1：入院レセプトのみ実施 2：入院外レセプト(突合点検の調剤を含む。)のみ実施 3：入院レセプト及び入院外レセプト(突合点検の調剤を含む。)に実施
10	調剤点検対象	数字	1	固定	1　当該事例によるチェックを調剤レセプトに対して実施しているか否かをコードで表す。 ＜コード内容＞ 0：未実施 1：実施
11	根拠	漢字	40	可変	1　根拠となる規定等が収載されている告示及び通知等を表す。 2　根拠の詳細を第３章の別表４に示す。 3　当該項目の値を省略する場合がある。 4　最大 20 文字まで設定する。
12	チェック根拠	漢字	4000	可変	1　チェック根拠を文章にて表す。 2　当該項目の値は省略しない。 3　最大 1024 文字まで設定する。
13	事例コード	英数	13	固定	1　事例ごとに任意に設定したコードを表す。 2　当該項目を第２ソートキーとする。
14	公開年月日	数字	8	固定	1　当該事例の公開年月日を YYYYMMDD 形式で表す。

項番	項　目　名	形式			内　容
		ﾓｰﾄﾞ	最大ﾊﾞｲﾄ	項目形式	
15	変更区分	数字	1	固定	1　当該事例の変更状況をコードで表す。 ＜コード内容＞ 0：前回公開と同一内容 1：抹消 3：新規 5：変更 9：廃止 2　「1：抹消」及び「9：廃止」については、次回公開時に当該事例を削除する。 3　変更区分の詳細を第３章の別表５に示す。
16	マスタファイル参照先区分	数字	2	可変	1　当該事例の参照するマスタをコードで表す。 ＜コード内容＞ 0：参照するマスタなし 1：医薬品適応関連マスタファイル 2：医科診療行為傷病名関連マスタファイル 4：医薬品適応投与量グループマスタファイル 5：医薬品適応漫然グループマスタファイル 6：医薬品傷病名禁忌関連マスタファイル 7：医薬品併用禁忌関連マスタファイル 2　マスタファイル参照先区分の詳細を第３章の別表 6 に示す。 3　当該項目の値は省略しない。
17	予備２	英数	1	可変	未使用：省略
18	予備３	英数	1	可変	未使用：省略
19	予備４	英数	1	可変	未使用：省略
20	予備５	英数	1	可変	未使用：省略

⑵　医薬品適応関連マスタファイル

項番	項　目　名	形式			内　容
		ﾓｰﾄﾞ	最大ﾊﾞｲﾄ	項目形式	
1	医薬品コード	数字	9	固定	1　チェック対象となる医薬品コードを表す。
2	傷病名コード	数字	7	固定	1　当該医薬品の対象となる傷病名コードを表す。 なお、外れ値1～3がチェック対象としている診療識別等を第３章の別表７に示す。 ＜コードの内容＞ 0000000:傷病名を条件しない数量又は投与日数のチェック 0000001:外れ値１ 0000002:外れ値２ 0000003:外れ値３ その他 :傷病名コード
3	予備１	英数	1	可変	未使用：省略
4	予備２	英数	1	可変	未使用：省略
5	性別	数字	1	固定	1　当該医薬品の対象となる性別コードを表す。 ＜コード内容＞ 0：男女共通 1：男 2：女
6	年齢（下限）	数字	6	可変	1　下限年齢を表す。 2　[XXX.XX]形式（整数部３桁＋小数部２桁）で値を設定する。（例：「000.50」は６か月以上） 3　下限がない場合は「000.00」を設定する。 4　当該項目の値は省略しない。
7	年齢（上限）	数字	6	可変	1　上限年齢を表す。 2　[XXX.XX]形式（整数部３桁＋小数部２桁）で値を設定する。（例：「000.50」は６か月以下） 3　上限がない場合は「999.99」を設定する。 4　当該項目の値は省略しない。
8	チェック区分	英数	1	可変	1　投与量チェック又は異常値チェックの対象であるか表す。 ＜コード内容＞ 0:無効 1:投与量チェック 2:異常値チェック 2　当該項目の値は省略しない。
9	予備４	英数	1	可変	未使用：省略
10	予備５	英数	1	可変	未使用：省略
11	予備６	英数	1	可変	未使用：省略

項番	項　目　名	形式			内　容
		ﾓｰﾄﾞ	最大ﾊﾞｲﾄ	項目形式	
12	予備7	英数	1	可変	未使用：省略
13	最大投与量	数字	11	可変	1　当該医薬品・傷病名を対象とした数量等のチェックに使用している値を表す。 2　[XXXXX.XXXXX]形式(整数部5桁＋小数部5桁）で値を設定する。 ＜コード内容＞ 99999.99999:チェック対象外 上記以外:チェックに使用している値 3　当該項目の値は省略しない。
14	予備8	英数	1	可変	未使用：省略
15	最長投与日数	数字	3	可変	1　当該医薬品・傷病名を対象とした日数等のチェックに使用している値を表す。 2　[XXX]形式(整数3桁）で値を設定する。 ＜コード内容＞ 999:チェック対象外 上記以外:チェックに使用している値 3　当該項目の値は省略しない。
16	予備9	英数	1	可変	未使用：省略
17	予備10	英数	1	可変	未使用：省略
18	予備11	英数	1	可変	未使用：省略
19	予備12	英数	1	可変	未使用：省略
20	予備13	英数	1	可変	未使用：省略
21	投与量制限－適宜増減等区分	英数	2	可変	1　当該医薬品・傷病名を対象とした数量等のチェックに使用している値が適宜増減の対象であるか否かを表す。 ＜コード内容＞ 0：適宜増減以外 1：適宜増減 2　当該項目の値は省略しない。
22	予備15	英数	1	可変	未使用：省略
23	変更区分	数字	1	固定	1　当該事例の変更状況をコードで表す。 ＜コード内容＞ 0：前回公開と同一内容 1：抹消 3：新規 5：変更 9：廃止 2　「1：抹消」及び「9：廃止」については、次回公開時に当該事例を削除する。 3　変更区分の詳細を第3章の別表5に示す。

項番	項　目　名	形式			内　容
		ﾓｰﾄﾞ	最大ﾊﾞｲﾄ	項目形式	
24	参照範囲	漢字	8	可変	1　レセプト参照の範囲を表す。 2　参照範囲の詳細を第３章の別表３に示す。 3　当該項目の値は省略しない。

⑶　医薬品適応投与量グループマスタファイル

項番	項　目　名	形式			内　容
		ﾓｰﾄﾞ	最大ﾊﾞｲﾄ	項目形式	
1	医薬品コード	数字	9	固定	1　チェック対象となる医薬品コードを表す。 2　当該項目を第1ソートキーとする。
2	投与形態コード	数字	1	固定	1　医薬品の投与形態コードを表す。
3	含量単位	英数	12	可変	1　医薬品の含量単位を表す。 2　当該項目の値を省略する場合がある。
4	グループ名	英数又は漢字	200	可変	1　医薬品のグループ名称（成分名称）を表す。 2　出力可能な文字数（固定で出力するメッセージの文字数を除いた文字数）を超えた場合にはグループ名を途中でカットする。 3　当該項目の値は省略しない。
5	傷病名コード	数字	7	固定	1　傷病名ごとに設定した番号を表す。 2　当該項目を第2ソートキーとする。
6	性別	数字	1	固定	1　当該医薬品に性別による制限がある場合、その性別を表す。 ＜コードの内容＞ 0：男女共通 1：男 2：女 2　当該項目を第3ソートキーとする。
7	年齢－下限	数字	6	固定	1　下限年齢を表す。 2　[XXX.XX]形式（整数部3桁＋小数部2桁）で値を設定する。（例：「000.50」は6か月以上） 3　下限がない場合は「000.00」を設定する。 4　当該項目を第4ソートキーとする。
8	年齢－上限	数字	6	固定	1　上限年齢を表す。 2　[XXX.XX]形式（整数部3桁＋小数部2桁）で値を設定する。（例：「000.50」は6か月以下） 3　上限がない場合は「999.99」を設定する。 4　当該項目を第5ソートキーとする。
9	規格値	数字	14	固定	1　医薬品の投与量・漫然投与日数カウントのためにグループごとに設定した規格値を表す。 2　[XXXXXXXXXXX.XX]形式（整数部11桁＋小数部2桁）で値を設定する。 3　省略時は「00000000000.00」を設定する。
10	チェック対象フラグ	数字	1	固定	1　単月チェック及び医薬品グループチェックの対象であるか否かを表す。 ＜コードの内容＞

項番	項　目　名	形式			内　容
		ﾓｰﾄﾞ	最大ﾊﾞｲﾄ	項目形式	
					0：チェックを実施しない 1：単月チェック 2：医薬品グループチェックを実施 3：単月チェックと医薬品グループチェックを実施
11	投与量制限ー変更後最大投与量(規格)	数字	14	固定	1　投与量・漫然グループコード内の最大値を表す。 [XXXXXXXX.XXXXX]形式（整数部 8 桁＋小数部 5 桁）で値を設定する。 （例：投与量１の場合は「00000001.00000」を設定する）
12	変更区分	数字	1	固定	1　当該事例の変更状況をコードで表す。 ＜コード内容＞ 0：前回公開と同一内容 1：抹消 3：新規 5：変更 9：廃止 2　「1：抹消」及び「9：廃止」については、次回公開時に当該事例を削除する。 3　変更区分の詳細を第３章の別表５に示す。
13	参照範囲	漢字	8	可変	1　レセプト参照の範囲を表す。 2　参照範囲の詳細を第３章の別表３に示す。 3　当該項目の値は省略しない。

⑷ 医薬品適応漫然グループマスタファイル

項番	項　目　名	形式			内　容
		ﾓｰﾄﾞ	最大ﾊﾞｲﾄ	項目形式	
1	医薬品コード	数字	9	固定	1　チェック対象となる医薬品コードを表す。 2　当該項目を第1ソートキーとする。
2	投与形態コード	数字	1	固定	1　医薬品の投与形態コードを表す。
3	グループ名	英数又は漢字	200	可変	1　医薬品のグループ名称（成分名称）を表す。 2　出力可能な文字数（固定で出力するメッセージの文字数を除いた文字数）を超えた場合にはグループ名を途中でカットする。 3　当該項目の値は省略しない。
4	傷病名コード	数字	7	固定	1　傷病名ごとに設定した番号を表す。 2　当該項目を第2ソートキーとする。
5	チェック対象フラグ	数字	1	固定	1　単月チェック及び医薬品グループチェックの対象かどうかを表す。 ＜コードの内容＞ 0：チェックを実施しない 1：単月チェック 2：医薬品グループチェックを実施 3：単月チェックと医薬品グループチェックを実施
6	漫然投与日数チェック対象フラグ	数字	1	可変	1　院外処方及び院内処方のチェック対象を表す。 ＜コードの内容＞ 1：院外処方のみ集計してチェックを実施 2：院内処方のみ集計してチェックを実施 3：院外処方と院内処方を集計してチェックを実施 2　省略時は空白を設定する。 3　当該項目の値は省略しない。
7	漫然投与日数	数字	3	固定	1　漫然投与と判断する日数を表す。 2　投与量グループコードを指定する場合は空白を設定する。
8	漫然投与リセット日数	数字	3	固定	1　連続投与と判断しない投与間の日数を表す。 2　投与量グループコードを指定する場合は空白を設定する。
9	漫然投与係数	数字	11	固定	1　漫然投与にかかる係数を表す。 2　[XXXXX.XXXXX]形式（整数部5桁＋小数部5桁）で値を設定する。 （例．3日に1回服用の場合、係数は「00003.00000」を使用） 3　投与量グループコードを指定する場合は空白を設定する。

項番	項　目　名	形式			内　容
		ﾓｰﾄﾞ	最大ﾊﾞｲﾄ	項目形式	
10	変更区分	数字	1	固定	1　当該事例の変更状況をコードで表す。 ＜コード内容＞ 0：前回公開と同一内容 1：抹消 3：新規 5：変更 9：廃止 2　「1：抹消」及び「9：廃止」については、次回公開時に当該事例を削除する。 3　変更区分の詳細を第３章の別表５に示す。
11	参照範囲	漢字	8	可変	1　レセプト参照の範囲を表す。 2　参照範囲の詳細を第３章の別表３に示す。 3　当該項目の値は省略しない。

⑸ 医薬品傷病名禁忌関連マスタファイル

項番	項　目　名	形式			内　容
		ﾓｰﾄﾞ	最大ﾊﾞｲﾄ	項目形式	
1	医薬品コード	数字	9	固定	1　チェック対象となる医薬品コードを表す。 2　当該項目を第1ソートキーとする。
2	禁忌傷病名コード	数字	7	固定	1　当該医薬品の対象となる禁忌傷病名コードを表す。 2　当該項目を第2ソートキーとする。
3	予備1	英数	1	可変	未使用：省略
4	予備2	英数	1	可変	未使用：省略
5	予備3	英数	1	可変	未使用：省略
6	予備4	英数	1	可変	未使用：省略
7	変更区分	数字	1	固定	1　当該事例の変更状況をコードで表す。 ＜コード内容＞ 0：前回公開と同一内容 1：抹消 3：新規 5：変更 9：廃止 2　「1：抹消」及び「9：廃止」については、次回公開時に当該事例を削除する。 3　変更区分の詳細を第３章の別表5に示す。
8	参照範囲	漢字	8	可変	1　レセプト参照の範囲を表す。 2　参照範囲の詳細を第３章の別表3に示す。 3　当該項目の値は省略しない。

⑹ 医薬品併用禁忌関連マスタファイル

項番	項　目　名	形式			内　容
		ﾓｰﾄﾞ	最大ﾊﾞｲﾄ	項目形式	
1	医薬品コード（L）	数字	9	固定	1　チェック対象となる医薬品コードを表す。 2　当該項目を第1ソートキーとする。
2	医薬品コード（R）	数字	9	固定	1　チェック対象となる医薬品コードを表す。 2　当該項目を第2ソートキーとする。
3	予備1	英数	1	可変	未使用：省略
4	予備2	英数	1	可変	未使用：省略
5	予備3	英数	1	可変	未使用：省略
6	予備4	英数	1	可変	未使用：省略
7	予備5	英数	1	可変	未使用：省略
8	予備6	英数	1	可変	未使用：省略
9	変更区分	数字	1	固定	1　当該事例の変更状況をコードで表す。 ＜コード内容＞ 0：前回公開と同一内容 1：抹消 3：新規 5：変更 9：廃止 2　「1：抹消」及び「9：廃止」については、次回公開時に当該事例を削除する。 3　変更区分の詳細を第3章の別表5に示す。
10	参照範囲	漢字	8	可変	1　レセプト参照の範囲を表す。 2　参照範囲の詳細を第3章の別表3に示す。 3　当該項目の値は省略しない。

⑺ 医科診療行為傷病名関連マスタファイル

項番	項　目　名	形式			内　容
		ﾓｰﾄﾞ	最大ﾊﾞｲﾄ	項目形式	
1	医科診療行為コード	数字	9	固定	1　チェック対象となる医科診療行為コード 2　当該項目を第1ソートキーとする。
2	傷病名コード	数字	7	固定	1　当該診療行為の対象となる傷病名コードを表す。 2　当該項目を第2ソートキーとする。
3	予備1	英数	1	可変	未使用：省略
4	予備2	英数	1	可変	未使用：省略
5	予備3	英数	1	可変	未使用：省略
6	予備4	英数	1	可変	未使用：省略
7	性別	数字	1	固定	1　当該診療行為の対象となる性別コードを表す。 ＜コード内容＞ 0：男女共通 1：男 2：女
8	年齢（下限）	数字	6	可変	1　下限年齢を表す。 2　[XXX.XX]形式（整数部3桁＋小数部2桁）で値を設定する。（例：「000.50」は6か月以上） 3　下限がない場合は「000.00」を設定する。 4　当該項目の値は省略しない。
9	年齢（上限）	数字	6	可変	1　上限年齢を表す。 2　[XXX.XX]形式（整数部3桁＋小数部2桁）で値を設定する。（例：「000.50」は6か月以下） 3　上限がない場合は「999.99」を設定する。 4　当該項目の値は省略しない。
10	入外区分	数字	1	固定	1　当該診療行為の対象となる入外区分コードを表す。 ＜コード内容＞ 0：入院レセプト及び入院外レセプト 1：入院レセプトのみ 2：入院外レセプトのみ
11	疑い病名	数字	1	固定	1　当該診療行為の対象となる疑い病名区分コードを表す。 ＜コード内容＞ 0：確定病名及び疑い病名 1：確定病名のみ 2：疑い病名のみ
12	変更区分	数字	1	固定	1　当該事例の変更状況をコードで表す。 ＜コード内容＞ 0：前回公開と同一内容 1：抹消

項番	項　目　名	形式			内　容
		ﾓｰﾄﾞ	最大ﾊﾞｲﾄ	項目形式	
					3：新規 5：変更 9：廃止 2　「1：抹消」及び「9：廃止」については、次回公開時に当該事例を削除する。 3　変更区分の詳細を第３章の別表５に示す。
13	参照範囲	漢字	8	可変	1　レセプト参照の範囲を表す。 2　参照範囲の詳細を第３章の別表３に示す。 3　当該項目の値は省略しない。

第３章　別表

別表１　チェック対象

項　目　名	区　分	内　容
チェック対象	医科診療行為	医科診療行為をチェックの対象とする事例
	医薬品	医薬品をチェックの対象とする事例

別表２　チェック観点

項　目　名	区　分	内　容
チェック観点	適応	医薬品の添付文書（効能・効果）や療養担当規則等を基にＤＸ審査支払機構内部の委員会において、コンピュータチェック用に選定した傷病名を適応として設定している事例
	用法・用量	医薬品の添付文書（用法・用量）において「○○年に●●回■■mg 投与する」、「投与期間は○○週間とする」等記載されている事例

別表３　参照範囲

項　目　名	区　分	内　容
参照範囲	単月	当月請求分のみ参照する事例
	入外	同一医療機関・同一患者に係る入院レセプトと入院外レセプトを参照する事例
	突合	同一医療機関・同一患者・同一診療（調剤）月に係る医科レセプト又は歯科レセプトと調剤レセプトを参照する事例
	縦覧	同一医療機関・同一患者に係る当月請求分レセプトと過去複数月のレセプトを参照する事例
	単入	「単月」及び「入外」の組合せ
	単突	「単月」及び「突合」の組合せ
	単縦	「単月」及び「縦覧」の組合せ
	単突縦	「単月」、「突合」及び「縦覧」の組合せ

別表４　根拠

項　目　名	区　分	内　容
根拠	療養担当規則	保険医療機関及び保険医療養担当規則を根拠とする事例
	医薬品添付文書	医療用医薬品添付文書を根拠とする事例
	外れ値	統計的手法等により算出した値を根拠とする事例

別表５　変更区分

項　目　名	区　分	内　容
変更区分	0：前回公開と同一内容	前回公開時と同一内容の事例
	1：抹消	設定しない
	3：新規	今回の公開で新規に追加した事例
	5：変更	今回の公開で変更した事例
	9：廃止	今回の公開で廃止した事例

別表６　マスタファイル参照先区分

項　目　名	区　分	内　容	ダウンロードファイル名
マスタファイル参照先区分	0：参照するマスターなし	参照するマスタのない事例	－
	1：医薬品適応関連マスタファイル	医薬品適応関連マスタファイルを参照する事例	IY_Tekio_チェックマスタ.csv
	2：医科診療行為傷病名関連マスタファイル	医科診療行為傷病名関連マスタファイルを参照する事例	SI_Shobyo_チェックマスタ.csv
	4：医薬品適応投与量グループマスタファイル	医薬品適応投与量グループマスタファイルを参照する事例	IY_Toyoryou_Group_チェックマスタ.csv
	5：医薬品適応漫然グループマスタファイル	医薬品適応漫然グループマスタファイルを参照する事例	IY_Manzen_Group_チェックマスタ.csv
	6：医薬品傷病名禁忌関連マスタファイル	医薬品傷病名禁忌関連マスタファイルを参照する事例	IY_ShobyoKinki_チェックマスタ.csv
	7：医薬品併用禁忌関連マスタファイル	医薬品併用禁忌関連マスタファイルを参照する事例	IY_HeiyoKinki_チェックマスタ.csv

別表７　傷病名コード

項　目　名	区　分	内　容		
		点数表	診療識別（剤型）	医薬品区分
傷病名コード	0000001:外れ値１	医科 歯科（入院）	21：投薬（内服）	
			31：注射（皮下筋肉内）	
			32：注射（静脈内）	
			33：注射（その他）	
		医科	28：投薬（その他）	
		歯科（入院外）	21：投薬・注射	1：内服
			80：全体のその他	1：内服
			80：全体のその他	4：注射
		調剤（突合）	01：内服薬	
			07：湯	
	0000002:外れ値２	医科 歯科（入院）	40：処置	
			50：手術	
			54：麻酔	
			60：検査・病理	
			70：画像診断	
		歯科（入院外）	31：X線検査	5：麻酔処置手術等薬剤
			41：処置・手術１	5：麻酔処置手術等薬剤
			41：処置・手術１	7：歯科特定薬剤
			42：処置・手術２	5：麻酔処置手術等薬剤
			42：処置・手術２	7：歯科特定薬剤
			43：処置・手術３	5：麻酔処置手術等薬剤
			43：処置・手術３	7：歯科特定薬剤
			44：処置・手術（その他）	5：麻酔処置手術等薬剤
			44：処置・手術（その他）	7：歯科特定薬剤
			54：麻酔	5：麻酔処置手術等薬剤
			54：麻酔	6：歯科麻酔薬剤
			61：修復・補綴１	5：麻酔処置手術等薬剤
			62：修復・補綴２	5：麻酔処置手術等薬剤
			63：修復・補綴３	5：麻酔処置手術等薬剤
			64：修復・補綴（その他）	5：麻酔処置手術等薬剤
			80：全体のその他	5：麻酔処置手術等薬剤
			80：全体のその他	6：歯科麻酔薬剤
			04：注射	
			05：外用	
			06：浸煎	

別表７　傷病名コード（続き）

項　目　名	区　分	内　容		
		点数表	診療識別（剤型）	医薬品区分
傷病名コード	0000003:外れ値３	医科 歯科（入院）	14：在宅	
			23：投薬（外用）	
			80：その他	
		歯科（入院外）	21：投薬・注射	3：外用
			80：全体のその他	3：外用
			80：全体のその他	7：歯科特定薬剤
		調剤（突合）	02：内滴	
			04：注射	
			05：外用	
			06：浸煎	